

自家用有償旅客運送制度の改革案に関する パブリックコメントの状況及び対応方針

令和6年4月9日
物流・自動車局

自家用有償旅客運送制度改革案(道路運送法第78条第2号関係)

- 移動の足の確保に懸案が生じているとの地域の声を踏まえ、従来の自家用有償旅客運送制度について、更なる制度改善を行うべく、パブリックコメントにおいて、以下の改革案を提示。

(1) 地域公共交通会議の運営手法の見直し

- 自家用有償旅客運送を導入するにあたって、地域公共交通会議で2か月程度協議してもなお結論に至らない場合には、協議内容を踏まえ首長の責任により判断できることを明記。

(2) タクシーとの共同運営の仕組みの構築

- タクシーサービスの補完として自家用有償旅客運送を活用するため、以下のとおり、タクシー事業者と市町村・NPO等との共同運営（タクシーサービスと自家用有償旅客運送サービスとの一体的な提供）が可能であることを明記。
 - ① タクシーと自家用有償旅客運送の一体的な配車サービスを導入し、タクシーの配車ができない場合に、自家用有償旅客運送を配車。
 - ② 共同運営を実施する場合には、利用者が支払う額はタクシー運賃と同額とした上で、うち約8割（実費相当額）は市町村・NPO等が収受し、約2割は地域公共交通の確保改善に活用。

(3) 運送区域の設定の柔軟化

- 運送区域外へ行く運送も運送区域外から戻る運送も可能であること、また、当該運送を行う場合には関係市町村に通知することを明記。
- 隣接する複数市町村が自家用有償旅客運送を共同化すべき場合もあり、地方運輸局や都道府県が当該共同化を促すことを明記。

(4) ダイナミックプライシングの導入

- 自家用有償旅客運送において、一定のダイナミックプライシングを導入するため、以下の事項を明記。
 - ① 自家用有償旅客運送の実施主体は、需給に応じて、通常収受することとなっている対価に対して、5割増を上限、5割引を下限として、柔軟に対価の額を設定することが可能。
 - ② ダイナミックプライシングを導入するに際しては、
 - ・対価の額をリアルタイムに変動させる
 - ・対価の額が変動する時間帯や要件をあらかじめ決定するのいずれの手法も可能。
 - ③ 一定期間において、自家用有償旅客運送によって収受した対価の総額は、「実費」の総額の範囲内でなければならないことから、これを3ヶ月ごとに確認。

【地域公共交通会議の運営手法の見直し】

- ・地域公共交通会議の議論がまとまらない時に首長の判断で決定する仕組みは、「首長の独断に陥るおそれがある」等の理由から賛成できない。地域の関係者の合議や多数決で決まるようにすべき。

【タクシーとの共同運営の仕組みの構築】

- ・タクシー配車不能時に自家用有償旅客運送を配車するのは理想的。タクシー運賃と同額というのも当然と思う。
- ・タクシーと自家用有償旅客運送は棲み分けされているものである、一緒に実施することには反対。共同運営を行う場合であっても自治体、NPOなどによる参加を促すことが必要。

【運送区域の設定の柔軟化】

- ・その時代の状況、人口や道路環境に合わせれば良いと思うため、賛成。
- ・区域外へ行く運送は隣接市町村程度とし、地域公共交通会議で十分協議して決めるべき。

【ダイナミックプライシングの導入】

- ・自家用有償旅客運送は、地域公共交通を補完する非営利の輸送手段である等の理由から、ダイナミックプライシングは馴染まないため、導入すべきではない。

パブリックコメントの反映等について(案)

- 自家用有償旅客運送制度に係る制度改善については、1頁に記載のとおりとしつつ、以下の点については、パブリックコメントの意見等も反映することとしたい。

【地域公共交通会議の運営手法の見直し】

- 首長の判断で決定する仕組みは賛成できず、地域の関係者の合議や多数決で決まるようにすべきとの指摘がある。
⇒このため、地域公共交通会議において、首長の判断で決定する仕組みを設ける場合には、設置要綱にその旨を規定するべき旨を通達に明記。

【タクシーとの共同運営の仕組みの構築】

- 共同運営を行う場合であっても自治体、NPOなどによる参加を促すことが必要との指摘がある。
⇒このため、共同運営を行う場合にも、自家用有償旅客運送の運送責任の主体は自家用有償旅客運送者である市町村・NPO等であることを通達に明記。
- タクシーの運賃と同額を利用者が支払った場合において、自家用有償旅客運送者が収受した金額が「実費の範囲内」とであると解される条件を通達に明記しておくことにより、地域公共交通会議における協議を円滑化。

(通達案)

「利用者が支払った金額のうち約2割が、当該共同運営に係る運送サービス（タクシー及び自家用有償旅客運送）の利用者の負担軽減に充てられる場合」